

ネットワークコミュニティ

情報の科学 第5回授業

02ネットワークがつなぐコミュニケーション

(教科書 pp.42～43)

【復習】インターネット

- 元は、複数のネットワークを結んで1つのネットワークを表したものの。(教科書p.45)
- 電子メール、ネットニュース、ファイル転送、WWW(WorldWideWeb)などのサービスが機種に依存せず利用可
- 現在は、WWWを「インターネット」と慣例的に呼ぶことが多い。

オンラインコミュニティ

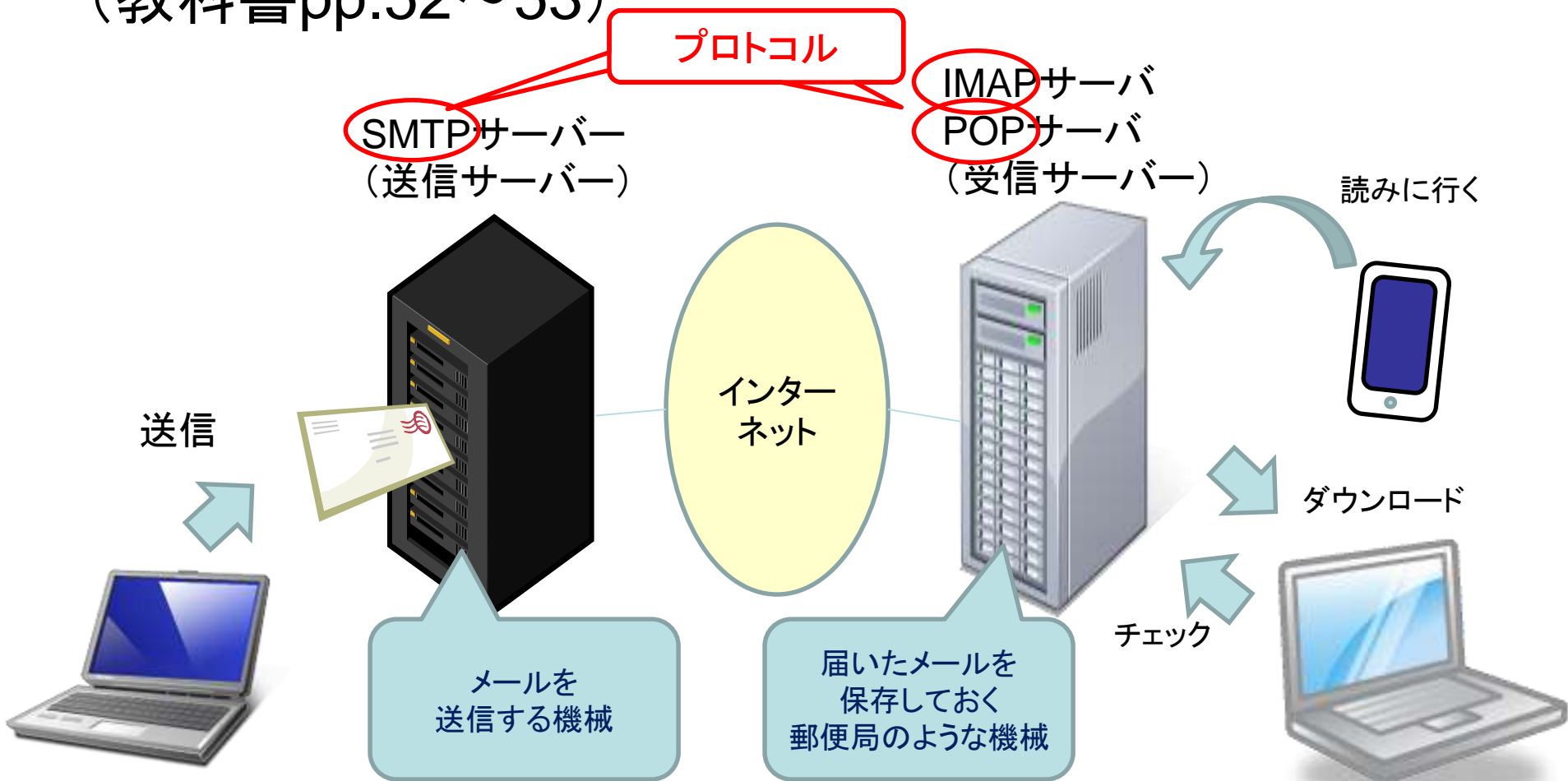
インターネットで、利用者どうしが意見を交換したり、情報共有したりできる場やサービス

SNS上のサービスとして提供されることが多い
(教科書p.42)

- ショートメッセージ、電子メール、メーリングリスト
- 電子掲示板
- チャット
- ブログ、マイクロブログ
- 動画共有、オンラインゲーム

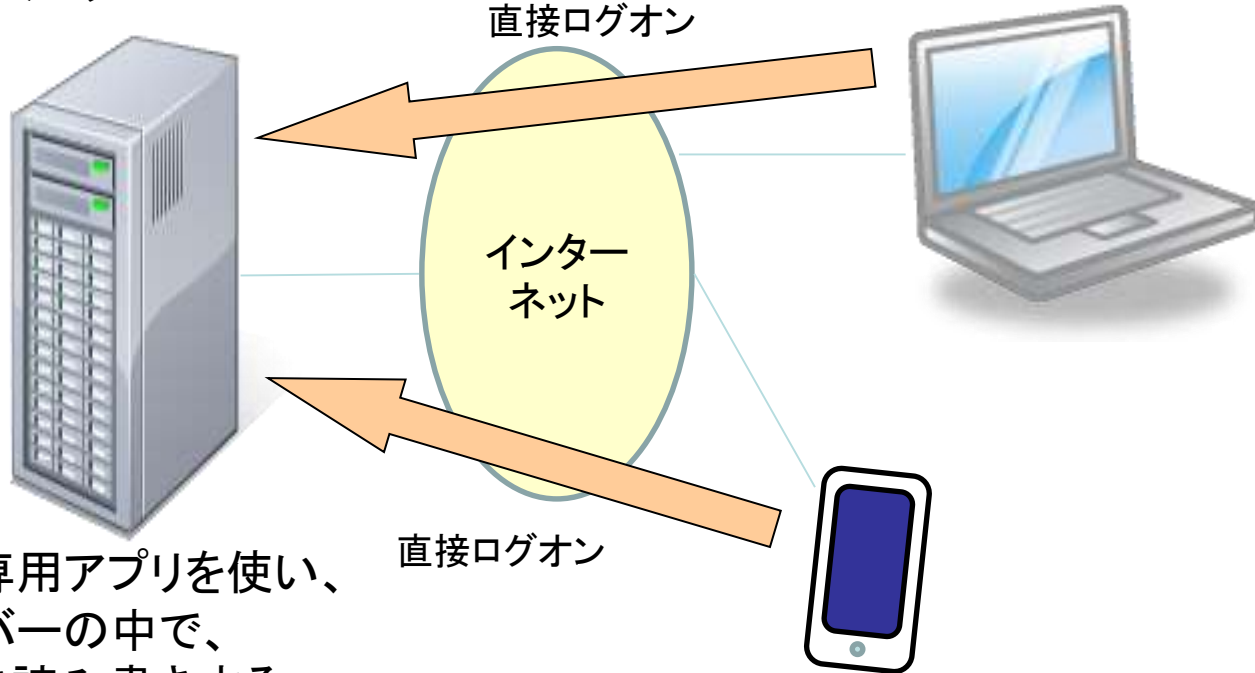
「電子メール」とは・・・

ネットワーク上でメッセージをやりとりするシステム
(教科書pp.52～53)



「Webメール」だと・・・

メールサーバー



ブラウザや専用アプリを使い、
メールサーバーの中で、
直接メールを読み書きする

<利点>

- ・インターネットにつながっていれば、ブラウザや専用アプリがあれば、どのPCや携帯端末からでも利用可
- ・違うPCや携帯端末でも、ブラウザや専用アプリが同じであればほぼ同じ環境で見られる

<難点>

- ・通信環境がないと見られない。また、常時接続によって通信費が高額になる場合も。

メールアドレスとドメイン

ドメイン名を見ることにより、ユーザの所属する組織など
おおよその検討をつけることができる。(教科書P.52)

k1234567 @ machida-h.ed.jp

ユーザ名

第3レベル
ドメイン

第2レベル
ドメイン

トップレベル
ドメイン

ドメイン名

「アットマーク」: 英語の「at」と同じ意味

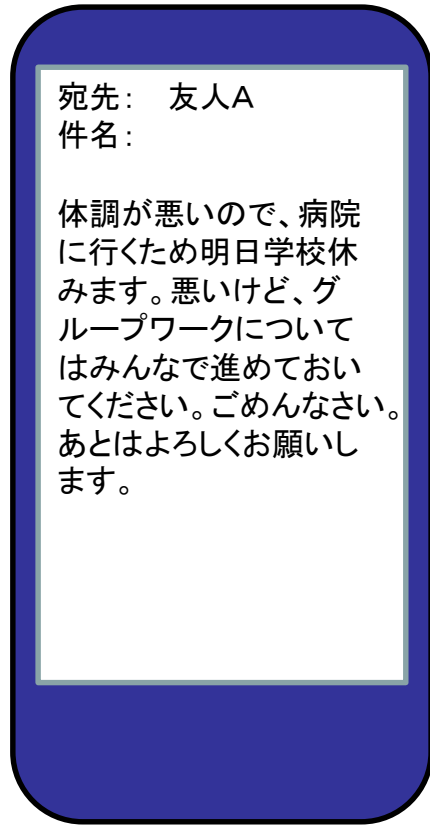
右から読む:

「jp(日本)」の「ed(初等中等学校)」に属する「machida-h」にいる所の「k1234567」さん

※特に、「属性」を表す第2レベルドメインの種類を覚えておくこと!

スマートフォン等との違いに注意

良くある
スマートフォンでの
メール



パソコンに
送って、
画面で
表示すると…

受け取った人は、
誰からなのか
わからないよ！

「件名」がないと、
「迷惑メール」と
扱われるかも…

差出人: me@〇〇.ne.jp
件名:

体調が悪いので、病院に行くため明日学校休みます。悪いけど、グループワークについてはみんなで進めておいてください。ごめんなさい。あとはよろしくお願いします。

ある程度で
改行しないと
見にくいよ！

最後に
自分の「署名」を
入れよう！

詳細な「電子メールの書き方」については、情報の教科書巻頭「資料11」などにある「見本」を見てみましょう。

こんな時、どうする？

1. テーマパークにみんなで行く時、
 - 前売りチケットの購入を、Aさんに頼みたい！
 - Aさんにチケットを頼んだことを、Bさんにも知っておいてほしい！
 - 内緒でサプライズ参加するCさんにも、こっそり伝えておきたい！
2. 自分のメールアドレスが変わったことを、プライバシーを守って皆に一斉に伝えたい

…… 正しく配信、できますか？

届いたメール
(全員同じもの)

```
差出人: Me(me@OO.ne.jp)
宛先: A(a@OO.ne.jp)
CC: B(b@OO.ne.jp)
BCC: 
件名: お願い

Aさんへ

OOです。こんにちは。
実は、チケットのことなのですが、
```

全員に同じメールが届くが、
BCCに入力したアドレスは
届いたメールには表示されない

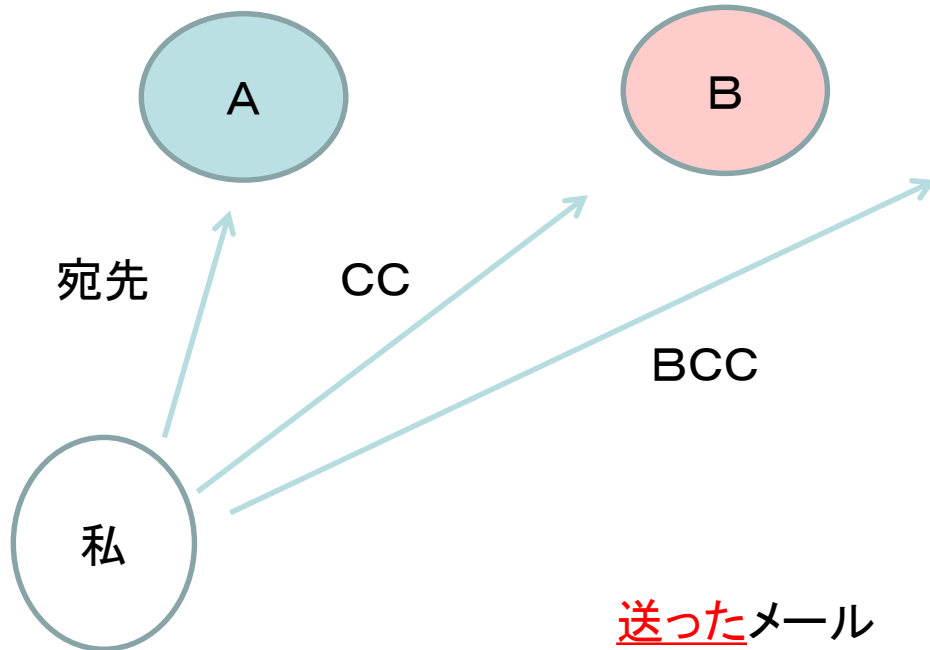


AさんとBさんは、
BCCで誰に送られたかは
わからない！！

伝えたい相手

ついでに知らせて
おきたい相手

知られずに送って
おきたい相手



「サプライズ」で
合流するCさん

送ったメール
(全員同じもの)

```
差出人: Me(me@OO.ne.jp)
宛先: A(a@OO.ne.jp)
CC: B(b@OO.ne.jp)
BCC: C(c@OO.ne.jp)
件名: お願い

Aさんへ

OOです。こんにちは。
実は、チケットのことなのですが、
```

届くメール (全員同じもの)

差出人: 私 (watashi@〇〇.ne.jp)
宛先: aa@〇〇.ne.jp, bb@〇〇.ne.jp, ..
CC:
BCC:
件名: メールアドレス変更

みなさま

〇〇です。こんにちは。
メールアドレスを変更しましたので、

みんなのアドレスが
公開されてしまう!

差出人: 私 (watashi@〇〇.ne.jp)
宛先: 私 (watashi@〇〇.ne.jp)
CC:
BCC:
件名: メールアドレス変更

みなさま

〇〇です。こんにちは。
メールアドレスを変更しましたので、

みんなのアドレスは
公開されない

送ったメール (全員同じもの)

差出人: 私 (watashi@〇〇.ne.jp)
宛先: aa@〇〇.ne.jp, bb@〇〇.ne.jp, ..
CC:
BCC:
件名: メールアドレス変更

みなさま

〇〇です。こんにちは。
メールアドレスを変更しましたので、

差出人: 私 (watashi@〇〇.ne.jp)
宛先: 私 (watashi@〇〇.ne.jp)
CC:
BCC: aa@〇〇.ne.jp, bb@〇〇.ne.jp, ...
件名: メールアドレス変更

みなさま

〇〇です。こんにちは。
メールアドレスを変更しましたので、

情報の特性

「情報」と「もの」の違いを考えてみよう

例)「ケーキは……ですが、
情報は……です。」

腐らない

記号化できる

食べられない

甘くはない

速く運べる

さわれない

記号化できる

自分で作り出せる

実体がない

減らない

コピーできる

形がない

なくなる

人から発信する

ネットで伝えられる

あいまいな存在

無数に存在する

抽象的

メディアを使って渡せる

信用性がないときもある

読み取れる

すぐ手に入る

見えない

発生するもの

お金がいるわけではない

どこでも得られる

情報	もの(ケーキ)
<ul style="list-style-type: none">▪ 減らない<ul style="list-style-type: none">– いつまでも残り続ける	<ul style="list-style-type: none">▪ 食べたら無くなる
<ul style="list-style-type: none">▪ 形がない<ul style="list-style-type: none">– 人によってとらえ方が変わる– 「誤解」が生じる場合がある	<ul style="list-style-type: none">▪ 形がある<ul style="list-style-type: none">– 見えるので誤解が少ない
<ul style="list-style-type: none">▪ 複製されて伝わる<ul style="list-style-type: none">– 自動的にどんどん増えていく– どこで複製されたかわからない– 複製されたのかもわからない	<ul style="list-style-type: none">▪ ケーキそのものが運ばれる<ul style="list-style-type: none">– 自動的にには増えない
<ul style="list-style-type: none">▪ 瞬時に伝わる<ul style="list-style-type: none">– 特に情報通信ネットワーク上では、遠隔地でも瞬時に伝わる	<ul style="list-style-type: none">▪ 運ぶのに手間がかかる

オンラインコミュニティの特性

1. 場所や時間の制約がない(ボーダレス・非同期)
 - 「すぐに返事が来ない」のは当たり前。
2. 主に文字でのコミュニケーション(メディアの偏り)
 - 相手に伝わる「情報の量」は実はそれほど多くはない。
3. 参加者に一斉に連絡可(同報性・即時性)
 - 一度発信した情報を取り消すことはまず不可能。
4. 検索ができ、情報が蓄積される(蓄積性)
 - 悪意のある情報や個人情報も、ずっと留まり続ける。
5. 実名ではなくハンドルネームが多い(匿名性)
 - 無責任な書き込みや誹謗中傷、なりすましの可能性。
 - 実はほとんどの場合が「特定」されてしまう。

絶対に守って欲しいこと

- 他人を傷つける言葉や画像などは、絶対に発信してはいけない
 - 一度発信した情報は取り消せず、あっという間に広がるだけでなく、ずっと残り半永久的に相手を傷つけ続ける(=永遠の「いじめ」)。
- SNSでも、実は「閉じた世界」ではない！
 - 何らかのきっかけで、必ず現実社会で表面化します。「自分たちだけ」は有り得ません。いつ表面化しても恥ずかしくないように。
 - 外部に接続されている以上、ウイルスや不具合、誤操作により、内容が外部に流出することも！

まとめ

- インターネット上には、いろいろなオンラインコミュニティがあります。
- 特に、電子メールの使い方は、スマートフォンのもものとは異なり、社会的なマナーやルールがあるので良く理解しましょう。
- 情報そのものやコミュニケーションの特徴を思いだし、さらに「オンライン」ならではの特徴を良く理解して、絶対にトラブルのないようにしましょう。